

課題	教育と福祉の連携がうまくいかない場合の相談体制を再考することが必要である。
概要及び現状	<p>【この課題は、教育と福祉の連携がうまくいっていないケースの個別調整会議から抽出したものである。】</p> <p>H31年度のこども部会で相談の流れを決定しているが（参考資料あり）、教育機関、福祉機関で認識されているかを確認したい。さらに、相談の流れを再度協議したい。H31年度に決定した流れでは、相談支援専門員から相談を受けた委託相談が個別調整会議を開くことになっている。今回のケースで、個別調整会議開催までに感じたことは、学校と初見の委託相談が、うまくいっていない関係の再構築に入る難しさである。特に、学校が福祉機関の機能や役割を把握していない場合、新たな福祉機関（委託相談）が増えることで、さらなる混乱が生じる可能性もある。まずは、「うまくいっていない」と思った学校、または福祉機関が行政（学校教育課、障がい福祉課）に相談→行政間の調整で学校と委託相談の顔合わせ→委託相談と福祉、委託相談と教育とで事前打ち合わせ→個別調整会議開催、の流れを作っていけると良いのではないかと。一方で、より効果的と思われる相談の流れが他にあるかもしれない。また、引き続き、教育機関に福祉機関の機能や役割を伝えていく必要もある。</p>
方針 改善	現状を確認し、継続すること、変更すること、新たに進めることを整理し、次年度から実施できるようにする。
具体的な取組内容	連携がうまくいかないときの相談体制を明確にし、教育機関、福祉機関に周知する。ただし、ケースによっては、決まった相談体制以外の進め方が合う場合もあるだろうから、あくまでも基本の流れとして提示した方が良いだろう。【詳細は、概要及び現状と同じ】
期待される効果	関係機関のスムーズな連携は、子どもたちの成長とご家族の安心感につながる。